

こしがや市議会だより harmony ハーモニー

No.227

令和7年(2025年)

2月1日

発行 越谷市議会
編集 広報・図書室協議会
☎963-9261(直通) FAX966-6006

- ◇主な議案の内容……………②③
- ◇審議結果……………③
- ◇常任委員会の審査……………④⑤
- ◇市政に対する一般質問……………⑥⑦
- ◇市議会からのお知らせ……………⑧
- ◇特集
第7回越谷市学生議会…⑨～⑫

12月定例会において28議案を可決 —新教育長の任命は賛成少数で否決—

12月定例会の概要

令和6年12月定例会は、12月2日から19日までの18日間にわたり開催しました。

本定例会では、「越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定について」など、28件の市長提出議案をそれぞれ同意または可決しました。

また、「越谷市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて」は、賛成少数により否決しました。

(各議案の結果は3ページに掲載しています。)

※定例会の日程は市議会ホームページをご覧ください。

令和7年1月臨時会を開催しました

令和7年1月臨時会を1月24日(金)に開催しました。

本臨時会には、市長提出議案として「令和6年度越谷市一般会計補正予算(第8号)について」が上程され、原案のとおり可決しました。

※詳しくは8ページをご覧ください。

第7回越谷市学生議会の特集を掲載しています。
詳しくは9ページ以降をご覧ください。

市議会だよりの表紙写真を募集しています。
(詳しくは8ページをご覧ください)

表紙の写真「夕焼けのしらこぼと橋と富士山」
撮影者 小林 京子 様(瓦曽根在住)
撮影場所 しらこぼと橋(令和5年(2023年)1月)

こしがや市議会だよりの愛称「harmony」は、ワンチームを連想させ、調和を奏でるとの思いが込められています。

UD FONT
by MORISAWA



スマホ用アプリ「マチイロ」で市議会だよりをご覧ください。

マチイロ

市議会の様子は、市議会ホームページからご覧いただけます。

越谷市議会

検索

<https://www.city.koshigaya.saitama.jp/gikai/>



主 な 議 案 の 内 容

質疑および討論については、その主なものを掲載しています。

各議案の概要は市議会ホームページに掲載しています。



市長提出議案

越谷市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて

本議案は、令和6年12月31日をもって越谷市教育委員会教育長吉田茂氏の任期が満了することに伴い、その後任の教育長として、田畑栄一氏を任命することについて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定により、議会の同意を求めるため提案されました。

▶ 議案質疑

問 選任の理由は。

答 田畑氏は昭和57年度に県立越谷養護学校の教諭として着任。その後21年間、中学校4校の教諭として勤務。平成20年度から3年間の埼玉県東部教育事務所での勤務を経て、平成23年度から2年間は中学校の教頭、平成25年度から10年間は小学校3校の校長を歴任。さらに、教育を題材とした著書の執筆等、教育分野に造詣が深いことなどを踏まえ、教育長にふさわしいと判断した。

問 越谷市の教育上の課題と田畑氏がその課題解決能力を備えているか。

答 田畑氏は児童を対象に教べんを執っていた経験、校長として教員をマネジメントしながら学校運営に携わった経験、教育分野での活動等を生かしながら、本市の教育課題の解決や、児童生徒の学力および人間力の向上に尽力できる人物である。さらに、市長部局と連携を図りながら、生涯学習、生涯スポーツの推進にも取り組んでいける人物である。

問 田畑氏の人柄は。

答 教育に情熱的で、人の話に耳を傾けながら迅速な判断ができる。また、物事を濁さずはっきり言う人物でもあり、常に子どもの目線に立って考え、実行に移すことができる。

問 今までの越谷市の教育長で市町村教育委員会の経験がない例はあったのか。

答 本市の歴代教育長6人のうち3人は、略歴等の記録から市町村教育委員会での経験はなかった。

問 これまでの越谷市の教育行政を引き続き継続していく考えがあるのか。

答 田畑氏は、本市の教育課題である量から質への転換によるGIGAスクール構想の推進、不登校・いじめ問題に対する早期発見、予防教育の推進等に鋭意取り組んでいく決意であるとのことである。本市の教育行政を継続する考えを持っており、田畑氏の経験、知見を生かして本市の教育行政の推進に大きく貢献していただけるものと考えている。

問 人選の過程で教育委員会や庁内の調整会議等に行われたのか。

答 会議は行っていない。私（市長）が決め、議案として提出した。

問 選定の経緯の中で、推薦があったか。

答 特に推薦はいただいていない。本市の教育課題を解決する力のある人として選定した。

越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、行政需要の高まりや喫緊の課題に対応するとともに、さらなる市民サービスの向上を図るべく、職員定数を変更する必要があるため提案されました。

改正の内容は、（仮称）緑の森公園保育所の開所や、こども誰でも通園制度の開始に伴う体制の整備などのため、市長部局の職員定数について、現行の「2423人」から11人増員し、「2434人」とするものです。

なお、本条例は、令和7年4月1日から施行します。

▶ 議案質疑

問 各種事業の見直しや行政DXの推進、さらには市役所業務の外注化などで増員分を吸収するといった考えは。

答 業務の見直しをはじめ、外部委託やIT、会計年度任用職員の活用などに取り組んでいる。外部委託は、各種計画の策定支援や施設の管理運営などに活用している。しかし、保育体制の充実や治水対策の体制強化など、早急に取り組むべき課題に対応するための人員捻出には至っていない。

問 令和5年12月議会にも同様の議案が上程されているが、その中で令和6年度に充足されなかった人数は。

答 令和6年度の職員定数については、令和5年度に対し、都合42人の定数増となっていたが、計5人が充足されていない。

問 昨年も本年も必要最低限の増員提案か。

答 令和7年度の行政を執行するうえで必要最小限の増員を提案するものである。

問 人口減少に対応するため、業務縮小や効率化を検討する必要がある。具体的な取り組みは。

答 事務事業のスクラップ・アンド・ビルド、既存業務の見直しなどを徹底したうえで、人員体制を整備していくことを基本としている。今回はRPAなどのデジタル技術を活用することによって、事務の効率化等を行っているが、時間外勤務の削減などにとどまり、定数の減員には至っていない。

問 職員の配置、業務フローの見直し等、そして行政サービスの見直しを検討する部署も必要と考えるが。

答 業務内容の精査をする部署は、令和8年度の機構改革の際、検討をしていきたい。

▶ 反対討論

▷ 人口減少時代を迎える中、職員定数増は極めて硬直性の強い人件費に直結することから、慎重であるべきと考え、本議案に反対する。

▷ 十分な精査と徹底した業務効率化を行っているとは言えず、日頃から財政難を理由にさまざまな事業を先送りにしておきながら、さらなる財政硬直化を招くことは、到底市民の理解は得られないため、本議案に反対する。

▷ 人口増が見込めない中、自主財源の見直しが難しいうえ、依存財源も不透明感が強い。原点に戻って、最少の経費で最大の効果を発

揮すべきと考え、本議案に反対する。

▶ 賛成討論

▷ 今回の増員は国の政策に基づく業務や専門性が高く、会計年度任用職員では対応できない業務に限った必要最小限の増員となっている。市民の生命、財産、安心安全な暮らしを維持するための増員、そして職員は市民の財産であると考えするため、本議案に賛成する。

▷ 業務委託や会計年度任用職員の活用などを考慮しても、常勤職員の増員以外で対応ができない。行政サービスの在り方が大きく変化していく過渡期においては、業務量も増加し、人も時間も専門性も当然必要になると考えるため、本議案に賛成する。

▷ 市民の行政需要が複雑化、多様化して業務量が増大し、職員の負担は限界を超えている。行政は、正規職員が当たり前で、適正な賃金と労働条件が守られる職場環境を作っていくべきと考えるため、本議案に賛成する。



越谷市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、小中一貫教育の効果的な実現を図るため、越谷市立南中学校を移転するとともに、越谷市立川柳中学校を設置することに伴い、所要の改正を行うものです。

改正の内容は、越谷市立南中学校を新たに整備する校舎へ移転することに伴い、その位置を「川柳町一丁目198番地」から「蒲生旭町1番75号」に変更するとともに、越谷市立南中学校が移転することに伴い、その敷地および校舎を活用した新たな越谷市立川柳中学校を「川柳町一丁目198番地」に設置するものです。なお、本条例は、令和9年4月1日から施行します。

▶ 反対討論

▷ 小中一貫校整備による大規模化は、不登校問題、いじめの問題に拍車がかかることが心配される。どのような学校を作っていくのか、市民の議論もないまま、一方的に市教育委員会が小中一貫校・3学園構想の計画ありきの姿勢で進めてきた。今後解決すべき問題が山積みのため、本議案に反対する。

- ・越谷市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・越谷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- ・越谷市常勤監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、期末手当に関する規定を整備するため、提案するもので、議員および常勤の特別職の令和6年12月期の支給割合を「100分の225」から「100分の235」に改め、公布の日から施行し、令和6年12月1日から適用します。また、令和7年度以



降については、６月期の支給割合を「１００分の２２５」から「１００分の２３０」に、１２月期の支給割合を「１００分の２３５」から「１００分の２３０」に改め、令和７年４月１日から施行します。

※４議案（第１４３号議案から第１４６号議案）に対する質疑と討論がありました。

▶議案質疑

問 期末手当を改正前４.５０から改正後４.６０に変更する議案だが、市議会議員、市長、副市長、教育長それぞれの増額金額は。

答 市議会議員の増額分は議員１人当たり６万９０００円、市長の増額分は１３万３５９８円、副市長の増額分は１１万１２０８円、教育長の増額分は９万４３４０円である。

問 他市では、一般職を引き上げても特別職は据え置く判断をしている事例があるが、今回、特別職の引き上げを判断した理由は。

答 本市では、特別職の期末手当の改定について、これまでも一般職の取り扱いに準じてきた経緯がある。内閣総理大臣などについては、給与の据え置きも示されたが、その範囲は一部にとどまること、さらには地方自治体の首長、特別職は一般職をまとめる立場であることなど、性格が異なる点がある。さまざま

な意見があることは承知しているが、市民の負託に応えるべく、市長を筆頭に職員一丸となって全力で取り組んでいく。

▶反対討論

▷ 越谷市の特別職の報酬について、例年、人事院勧告に準じているが、国において首相や大臣などは報酬を据え置くこと、他市で一般職は引き上げても特別職は据え置く判断をしている事例があることから、今回の特別職の報酬引き上げは、住民の理解が得られないため、本議案に反対する。

▷ 市立病院の大幅な赤字など、現在の市の状況を鑑みると、市長や議員など、人事院勧告と切り離すことができる特別職の給与報酬を現時点で引き上げることは、市民に理解されず、説明ができないため、本議案に反対する。

越谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

本議案は、一般職の国家公務員の給与の改正に伴い、国に準じて職員の給与を改正する必要があるため、提案するものです。

改正の主な内容は、若年層に重点を置きつつ、全職員を対象に給料表の改定を行うもの

で、公布の日から施行し、令和６年４月１日から適用します。なお、令和７年度以降は、職務や職責を重視した給料体系とするため、職務の級間での重なりを解消するなど、給料表の改定を行うものです。

また、期末手当および勤勉手当の支給割合を変更するもので、令和６年１２月期の変更について、公布の日から施行し、令和６年１２月１日から適用するほか、令和７年６月期・１２月期の変更については、令和７年４月１日から施行します。

さらに、扶養手当、通勤手当、単身赴任手当、管理職員特別勤務手当に係る改正については、令和７年４月１日から施行します。

※５議案（第１４３号議案から第１４７号議案）に対する討論がありました。

▶反対討論

▷ 公務員は身分保障があり、ほとんど解雇されることはなく、終身雇用により毎年昇給するうえ、定数も決められている。さらに、地方公務員法が原則適用されない特別職も対象にすることは、人件費を硬直化させることになる。民間とのギャップもある人事院勧告による報酬見直しに市民からの理解は到底得られるものではないため、本議案に反対する。

令和6年12月定例会 審議結果

◇議案の概要は市議会ホームページから確認できます。

すべての議員が賛成した議案（議長を除く）

議案番号	付託委員会	議案名	議案番号	付託委員会	議案名
市長提出第120号	省略	専決処分事項の承認を求めることについて（令和６年度越谷市一般会計補正予算（第5号））	市長提出第133号	環境経済・建設	越谷市特定都市河川浸水被害対策法施行条例制定について
市長提出第122号	省略	越谷市監査委員の選任につき同意を求めることについて（利根川 敏彦 氏（再任））	市長提出第134号	環境経済・建設	指定管理者の指定について（越谷市越谷駅東口駐車場）
市長提出第123号	省略	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（渡邊 満明 氏（再任））	市長提出第135号	環境経済・建設	市道路線の廃止について
市長提出第124号	省略	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて（野口 京子 氏（新任））	市長提出第136号	環境経済・建設	市道路線の認定について
市長提出第126号	民生	越谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第138号	予算決算	令和6年度越谷市一般会計補正予算（第6号）について
市長提出第127号	民生	越谷市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第139号	予算決算	令和6年度越谷市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について
市長提出第128号	民生	指定管理者の指定について（越谷市市民活動支援センター）	市長提出第140号	予算決算	令和6年度越谷市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について
市長提出第129号	環境経済・建設	越谷市中小企業資金融資条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第141号	予算決算	令和6年度越谷市介護保険特別会計補正予算（第2号）について
市長提出第130号	環境経済・建設	越谷市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第142号	予算決算	令和6年度越谷市病院事業会計補正予算（第2号）について
市長提出第131号	環境経済・建設	越谷市まちの整備に関する条例の一部を改正する条例制定について	市長提出第148号	省略	令和6年度越谷市一般会計補正予算（第7号）について
市長提出第132号	環境経済・建設	越谷市下水道条例の一部を改正する条例制定について			

賛否が分かれた議案

議案番号 付託委員会 議案名			会派名		自由民主党越谷市議団								公明党越谷市議団					刷新クラブ			無所属の会			立憲民主党		日本共産党		市民ネット		維	賛成	反対	本会議議決結果				
			議員名		野口佳司	伊藤治	金井直樹	島田玲子	小林豊代子	清田巳喜男	立澤貴明	横井聖美	竹内栄治	瀬賀恭子	畑谷茂	久保田茂	藤部徳治	和泉田宏幸	武藤智	松島孝夫	浅古高志	野口高明	菊地貴光	白川秀嗣	大野恭子	斎藤豪人	後藤孝江	小口高寛	土屋来夢	山田大助				工藤秀次	大和田哲	山田裕子	清水泉
市長提出第121号	省略	越谷市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて(田畑 栄一 氏(新任))	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	10	21	否決	
市長提出第125号	総務	越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定について	×	×	×	議	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	18	13	原案可決
市長提出第137号	子ども・教育	越谷市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	27	4	原案可決
市長提出第143号	省略	越谷市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	退	議	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	21	8	原案可決
市長提出第144号	省略	市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	退	議	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	21	8	原案可決
市長提出第145号	省略	越谷市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	退	議	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	21	8	原案可決
市長提出第146号	省略	越谷市常勤監査委員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	退	議	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	21	8	原案可決
市長提出第147号	省略	越谷市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	30	1	原案可決

凡例：○…賛成 ×…反対 議…議長（議長は採決に加わりません） 退…退席
会派名の刷新クラブは「越谷刷新クラブ」、無所属の会は「こしがや無所属の会」、立憲民主党は「立憲民主党越谷市議団」、日本共産党は「日本共産党越谷市議団」、市民ネットは「越谷市民ネットワーク」、維は「日本維新の会」の略
◀越谷市議会議員 条例定数＝３２人 現員数＝３２人▶

常任委員会 (部門別)の審査

12月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案13件が部門別の常任委員会に付託され審査を行いました。
※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧いただけます。



総務



越谷市職員定数条例の一部を改正する条例制定について

問 こども誰でも通園制度開始に伴う業務量の増加見込みは。また、1名の増員で十分か。

答 こども誰でも通園制度は、給付制度としては令和8年度から実施するものであるが、本市では、令和7年度に試行的に実施および検証することが必要と考えている。

また、認可事務になるため、複数の事業者から申請を受け、図面上の配置や職員体制等の審査を行うなど相当な事務量が見込まれる。

令和7年度については、令和8年度の給付制度に比べれば小さな事業規模で実施するため、1名の増員で十分対応できると考えている。令和7年度に実施した内容をしっかりと検証し、令和8年度の事業の円滑なスタートに向け、その検証結果を定期的に各事業者提供していきたい。

問 令和7年度における定数調整の経過は。また、増員要求の査定にあたって精査した具体的な内容は。

答 5月に各部局へ要望調書の作成を依頼し、関係各部局からの増員要望に対して、7月に事業課とのヒアリング、8月に行財政部長内示を発出している。この内容を踏まえて、各部局から再要求調書の提出、10月に再要求に対する関係各部長ヒアリングを経て、本定例会に提案したものである。

また、増員要求の査定にあたり、増員しないことによる市民サービスへの影響が大きいもの、また、業務委託や会計年度任用職員の活用など、常勤職員の増員以外に対応できないものなどの視点を持ち、選定した。

問 人員増によって起きている人件費増額における財政硬直化への影響は。また、今後の人件費等の財源確保の考え方は。

答 財政の硬直化という面で、義務的経費全体では、コロナ禍前の平成30年度の53.6%に対し、令和5年度は53.5%とおおむね同程度となっている。義務的経費に占める人件費の割合は、平成30年度の33.2%に対し、令和5年度は29.9%となっている。

また、市民1人当たりの人件費で比較すると、令和4年度の決算ベースでは、中核市平均約6万3600円に対し、本市は約5万8300円と、5300円少ない状況である。

本市が抱える課題の解決や、市民が必要とするサービスを提供していくためには、執行

体制の整備とともに既存事業の見直しなどによる財源捻出が必要不可欠である。現在、取り組んでいる、公共施設等総合管理計画アクションプランや、使用料等のあり方に関する基本方針の見直しは、財源捻出に深く関わる内容であることから、鋭意取り組んでいく。

▶**反対討論** 職員定数は直近4年間で117名の増員をしており、仮に一人当たりの人件費を約820万円とすると、年間では約9億5940万円もの人件費増となっているが、この議案が可決するとさらに年間約9020万円の増額となり、より一層の財政の硬直化につながる。

また、メンタル不調による病気休職の職員数は高止まりとなっており、復帰の取り組みが優先されるべき事項であると考えている。

さらに、定数増の議案は慎重であるべきとの執行部の答弁がある一方、令和6年度の定数増も充足されていない状況は、十分な精査のもと決めた数ではないことを露呈している。

県内の人口同規模で、中核市である川越市と比較すると、人口1万人当たりの職員数が多く、福田市長がデジタル市役所をうたっているにもかかわらず、AI、RPAの活用などにより、全庁的に行政の効率化等の行政改革を行ってきた事実が見受けられず、組織改革により職員数は抑制ができる。本市の人口減少に逆行し、効果を十分に精査せず、職員定数を増やすことについて、市民の理解は得られないと考え、本議案に反対する。



民生



越谷市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例制定について

「条例改正に伴う市民への影響の有無」に関する質疑がありました。

指定管理者の指定について（越谷市市民活動支援センター）

問 指定期間を5年ではなく3年とした理由は。また、今後の運用方針は。

答 指定期間は、越谷市で定めているガイドラインの中で「機材等の購入、リース等の点を考慮し、原則として指定期間を5年とする。ただし、1回目の公募については、当初の応募状況や管理状況を検証するため指定期間を短縮することができる」と示している。

市民活動支援センターは、継続施設ではあるが、次期指定期間より在住外国人を支援する機能を追加し、管理状況等を検証する必要があるため、まずは指定期間を3年とした。

今後の運用については、他市の状況や指定管理者との協議の中で、調整していきたい。



市民活動支援センター
(越谷ツインシティBシティ4階・5階)



環境経済・建設



越谷市道路占用料徴収条例の一部を改正する

条例制定について

「占用料の改定による影響額や、上空通路の維持管理」などに関する質疑がありました。
越谷市まちの整備に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 雨水流出抑制施設の設置にあたっては、本条例と「特定都市河川浸水被害対策法」での手続きが併存することになるが、申請手続きを円滑にするための方策は。また、法の施行による主な変更点は。

答 現在埼玉県でマニュアル等の作成が進められており、本市でも、申請者の負担軽減と事務処理の効率化が図れるよう、申請様式の共通化、入力フォーマット化による書類作成の簡素化などの検討を行っている。

また、必要対策容量は、法と条例それぞれに基づいて求めた対策容量を比較し、大きい方の値を適用することとなる。さらに、現在条例の対象となっていない、国や地方公共団体が行う公共工事のほか、自己用住宅、資材置き場や駐車場等の締め固められた土地からアスファルト等の舗装を行う行為なども、法においては、施設を設置する対象となる。

越谷市特定都市河川浸水被害対策法施行条例制定について

「設置する標識のデザインやその基準」などに関する質疑がありました。

指定管理者の指定について（越谷市越谷駅東口駐車場）

問 指定管理における委託料の考え方は。また、指定管理先の業務に対する市の評価は。

答 利用料金制度を採用しており、駐車場料金収入から管理料を差し引いた金額の7割を市の収入に、3割を指定管理者の収入としているため、委託料は設定をしていない。

また、当該指定管理者は、商業棟も含めて総合的な防火・防災対策を講じることが可能であり、さらに、地元地権者や地域との密接なつながりがあることから、地元自治会や商店会等との連携を図ることで、駅前のにぎわい創出に資してきた点などを評価している。



越谷駅東口駐車場

市道路線の認定について

問 川柳町に建設する人道橋に接続する道路の整備状況は。また、夜間時の安全対策は。

答 人道橋から川柳小学校までの砂利道になっている区間については、今年度測量を行い、来年度に道路を拡幅して舗装整備を行う予定である。

また、現時点で、レイクタウン側には用水の緑道部分に照明灯があり、川柳側についても、市街化調整区域の基準に合った間隔で照明灯を設置しているが、今後、通学路として安全性の確保が必要な場合については、追加で照明の設置を行う。



子ども・教育



越谷市立学校設置条例の一部を改正する条例制定について

問 越谷市立川柳中学校の校名決定のプロセスは。また、条例改正に係る児童生徒・保護者への説明は。さらに、川柳中学校敷地内に小学校高学年校舎を設置することによる学校運営上の課題に対する考えは。

答 第1段階で新設中学校の校名の募集、第2段階で関係小中学校の教職員へのアンケート調査の実施、第3段階で関係小中学校の管理職等による校名案の選出、第4段階の地域準備会で校名案5点を選定し、最終の選定投票を行った。選定投票において、「川柳小学校卒業生が通う中学校だから」、「分かりやすい、馴染みやすい、親しみやすいから」、「地域・地区の名前を残したいから」など多くの意見をいただいた越谷市立川柳中学校を校名案として教育委員会会議に提案し、承認を得た。

また、選定投票では校名案に対する思いを説明する中で、児童生徒、保護者等に投票いただいており、本議案の審査結果についても、小中一貫校だより、ホームページ等で周知していきたい。

さらに、川柳小学校における低中学年と高学年の校舎分離に関しては、4・3・2制の中でリーダーシップを発揮させることや、児童生徒のつながりを含めた学習環境・教育課程を整備できるなどのメリットがある。通学関係などの課題については、地域準備会とともに考え、解決していきたい。

▶**反対討論** 小中一貫校整備による大規模化は、不登校問題、いじめ問題に拍車がかかることが心配され、どのような学校を作っていくのか、市民との議論もないまま、一方的に教育委員会が進めてきた。今後解決すべき問題が山積みであるため、本議案に反対する。

予算決算 常任委員会 の審査

12月定例会に上程された議案のうち、市長提出議案5件が予算決算常任委員会に付託され、各分科会に送付し審査を行いました。

※質疑のあった議案について主な質疑と答弁を掲載しています。QRコードを読み取ると、委員会の録画映像をご覧ください。



総務 分科会

総務分科会に付託された議案で質疑はありませんでした。

民生 分科会

令和6年度越谷市一般会計補正予算(第6号)について

「健康診査事業の受診率向上の取り組み」に関する質疑がありました。

令和6年度越谷市病院事業会計補正予算(第2号)について

問 一時借入金の限度額を増額する理由は。また、借入先の考え方や今後の対応は。

答 今回、内部留保資金の減少に伴い、一時借入金の限度額を10億円から15億円に引き上げたいと考えている。内部留保資金の減

少理由としては、主に、病院西棟や研修センター等の増改築工事の際に、当時の経営判断から、企業債などでなく、現金で対応したことが影響していると認識している。

そのほか、新型コロナウイルス感染症のまん延時に、コロナ患者の専用病床を多く確保した病院には多くの補助金が交付されたが、市立病院においては感染管理に重点を置いたことから、他市に比べて補助金収入が少なく、そのことも一つの要因であると捉えている。一時借入金の現在の借入先は、出納取扱金融機関の埼玉りそな銀行で、その理由は、出納取扱金融機関から借り入れを行う場合、当座貸越が利用でき、不足額が発生した際に、迅速に借り入れができることから、借入期間の最小化、利息の軽減などが図れるためである。

今後は、一時借入金額が年々増加していることを踏まえ、利息を軽減する方策についてさらに検討していく必要があり、他市の事例などを調査するとともに、関係部署と調整し、本年度中に市の歳計現金からの短期借り入れが実施できるよう準備を進めていきたい。



市立病院

環境経済・建設 分科会

令和6年度越谷市一般会計補正予算(第6号)について

問 ふるさと納税推進事業の事業内容は。また、当初予算に比して約2倍の金額となるが、ふるさと納税推進事業の状況は。

答 事業内容については、まず手数料として、寄付者のクレジットカード決済や郵便振替に係る手数料、次にふるさと納税推進事務委託料として、中間管理業者の業務委託料、各事業者に支払う返礼品の代金、返礼品の配送料、ポータルサイトの利用料など、寄付額に応じて発生する事務に係る経費であり、今後の執行に不足が見込まれるため計上している。

また、ふるさと納税推進事業の状況について、今年度からポータルサイトを1社から4社に拡充するとともに、返礼品の掘り起こしを行ったことなどから、寄付額が順調に増加しており、歳入額についても増額補正を行っている。



子ども・教育 分科会

令和6年度越谷市一般会計補正予算(第6号)

について

問 越谷市いじめ防止対策委員会の開催内容や委員の人選は。また、本市における重大事態の件数および調査状況は。さらに、今後のいじめの把握や指導に係る留意点は。

答 越谷市いじめ防止対策委員会においては、いじめの防止等のための実効的な対策や重大事態に係る調査審議を行っており、年2回の定例会に加え、重大事態が発生した場合には臨時会を開催している。委員5人は、法律・医学・心理・福祉等に関し専門的な知識および経験を有する方のうちから、教育委員会が委嘱している。

また、本市においては、平成25年のいじめ防止対策推進法の施行以降、10件の重大事態が発生しているが、このうちの2件については、既に調査が終了し、報告や公表に至っている。そのほかの8件については、事実関係を把握するため、学校または越谷市いじめ防止対策委員会が主体となって関係者への聞き取りを行っている状況である。

さらに、近年の多様化・複雑化するいじめに対しては、いじめの早期発見・早期把握に向けた教職員によるきめ細かな対応や、児童生徒がSOSを発信できる日記やアンケートの活用、いじめと疑われる事案を発見した場合には、被害者側に寄り添った組織的な対応を図っていくことが重要であると認識している。

教育委員会としても、いじめ防止対策推進法にのっとり対応するよう校長会等を通じて指導しているほか、指導主事を学校に派遣し、いじめに関する研修を積極的に実施するよう周知している。今後も、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、学校を支援していきたい。

問 給食材料費の追加の内容や国の交付金の活用は。また、米飯の提供回数を減らしていく考えは。

答 今回の補正予算では、給食に使用する野菜、肉、魚などの材料費に係る9月から3月までの7カ月分の増額費約1億円に加え、米飯に係る11月から3月までの5カ月分の増額費約4000万円を計上している。なお、給食材料費については、国の地方創生臨時交付金の対象となることから、今後、財政部局と調整していきたい。

また、米飯の提供回数については、麺類やパンで使用する小麦粉の価格が高騰していることや、製麺所の数の減少により、うどんの提供回数が制限されていることから、米飯、麺類、パンの割合を変更するのは難しい状況であるが、献立のバランスを考慮し、児童生徒にとって魅力ある給食を提供していきたい。



児童が給食を食べている風景

各議案の概要は
右記QRコードから
ご覧いただけます。



市政に対する 一般質問

12月定例会では20人の議員が市政全般について質問を行いました。
※一般質問は、議案に関係なく、市の行政事務について市長および執行機関に質問することで、越谷市議会では1人1時間を目途に行われます。



認知症神戸モデルの取り組みについて

公明党越谷市議団 **藤部 徳治** 議員

問 認知症を早期に発見する取り組みが遅れているのでは。

市長 神戸市や県内の先進自治体の取り組みを参考に、効果的な実施方法について、関係機関と連携を図り検討していく。

問 VRゴーグルを使った認知機能セルフチェッカーを活用する考えは。

市長 機器の調達、設置場所、検査結果のフォローを行う人員が必要となり、現状は難しいと考える。



「認知機能セルフチェッカー」イメージ画像



シェアサイクルについて

越谷刷新クラブ **野口 高明** 議員

問 市内134か所の都市公園、国や県も含む公共施設、広い歩道などまだ設置がなされていない。今後の整備は。

市長 市有施設への設置を推進するとともに、市有地以外の国および県有地への設置に向け、関係機関と協議するほか、公園や緑道についても設置に向け調整している。

要望 特に公園は調整区域も含めて市内各地にあるため、市内全域の利便性向上につながる。積極的に設置するよう要望する。



香害の啓発と石けん使用について

越谷市民ネットワーク **山田 裕子** 議員

問 公立保育所や小中学校において、環境や人体に優しい石けんを使用する考えは。

市長 公立保育所の手洗いや洗濯には石けんを使用している。食器洗いや清掃には合成洗剤を使用しているが、手肌や環境に優しい製品への切り替えを検討していく。

教育長 各学校が適した製品を選択しており石けんでない製品も含まれるが、人体や環境に配慮した製品を選ぶことについて、機会を捉えて各学校に周知していく。



産後ドゥーラ養成に対する補助について

越谷市民ネットワーク **大田 ちひろ** 議員

問 産後ドゥーラ養成に対する補助の考えは。

市長 産後ドゥーラは、産前産後の女性の心身のケアや家族、育児のサポートを行う専門家であるが、市内在住の有資格者が1名であり人材の確保が課題である。今後、他自治体の取り組みを注視し、調査研究を進める。国庫補助事業である子育て世帯訪問支援事業について、同様の支援が可能であることから実施について検討を進める。



「ゼロカーボンシティ」共同宣言と森林保全について

こしがや無所属の会 **菊地 貴光** 議員

問 小鹿野町と整備を進める、こしがや・おがの交流の森の現状と今後は。

市長 越谷市民が育てた紅葉の苗木を植樹した。今後も自然体験を伴う交流イベントを開催するほか、埼玉県のカーボンオフセットの認証手続きを行う予定である。

問 こしがや・おがの交流の森や森林保全のため、全国植樹祭に向けた取り組みは。

市長 県からの情報提供を受けながら、開催に向けた機運醸成に努める。



保育施設入所の申請について

自由民主党越谷市議団 **横井 聖美** 議員

問 市民負担を軽減する申請方法の考えは。

市長 今年度から電子申請による事前予約制に変更したところ、待ち時間短縮が図られ保護者から大変好評であった。今後も児童の一斉面接は継続したいが、他自治体の例を踏まえながら、面接の対象年齢を見直すなど保護者の負担軽減となる方法も検討したい。また、これまで手書きの申請書しか用意がなかったが、エクセル版を市ホームページに公開したので活用してほしい。



農業ボランティアについて

越谷市民ネットワーク **清水 泉** 議員

問 持続可能な農業を支える仕組みとして、農業ボランティアを導入する考えは。

市長 農業の人手不足が深刻化している中、近年、農業に関心のある方の力を借り、農繁期の手伝いなど、人手不足を補おうとする取り組みが増えている。農業者と消費者の交流といった観点からも有効な取り組みであると認識している。農業者のご意見を伺いながら、先進的な事例も参考に調査・研究していく。



子宮頸がん予防に係るHPVワクチン接種の仕組みづくりについて

公明党越谷市議団 **和泉田 宏幸** 議員

問 子宮頸がん予防のHPVワクチンのキャッチアップ接種期限が、条件付きで令和8年3月まで延期されたことの周知は。

市長 広報こしがやなど、多様な媒体を活用して、早急に周知を進めていく。

問 HPVワクチンの定期接種化後の接種率向上に向けた仕組みづくりは。

市長 中学1年生と対象最終年の高校1年生相当の女子に個別通知を発送するなど、さまざまな媒体を活用し周知していく。



生活保護の就労支援のあり方について

日本共産党越谷市議団 **山田 大助** 議員

問 生活保護利用者には困難を抱えている人が多いため、大阪市の例のように就労支援を営利企業に委託して成果報酬にするというのは福祉の考え方とは相いれないと考えるが、市の対応は。

市長 働くことに自信が持てない、不安があるという人も多いので、福祉的視点で受給者の立場にたって、信頼関係を構築しながら対応できる事業者委託をしている。成果報酬という仕組みにはしていない。



防犯カメラの設置について

越谷刷新クラブ **松島 孝夫** 議員

問 社会的背景や市民ニーズ、市の高い犯罪率抑制の観点から、市内全域に一定数の防犯カメラを設置し犯罪抑制する考えは。

市長 効果的運用が図れるよう、来年度の市内全域への設置に向けて調整している。

問 犯罪抑制の効果を踏まえると、ある程度の台数が必要だが、設置される台数は。

市長 予算の調整段階であることから、確定的な台数は決まっていないが、300台程度をベースとして検討している。



街頭防犯カメラ

各議員の氏名の左にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像をご覧いただけます。



共同親権制度導入に伴う総合支援窓口の設置について

自由民主党越谷市議団 清田 巳喜男 議員

問 地方自治体が今後新たに取り組むべき業務が多岐にわたるため、改正法の施行までにワンストップで対応可能な総合支援窓口等を設置する考えは。

市長 国から共同親権に関する指針等が発出された際には、体制整備等について迅速に対応するとともに、個々の家族の状況に合わせた支援を継続できるよう、福祉分野だけでなく、母子保健や教育分野における包括的な相談体制の構築に努めていく。



視覚障がい者に対する対応について

自由民主党越谷市議団 金井 直樹 議員

問 視覚に障がいのある市民から、市役所の手紙等の内容が分からないとの声があったが、市の対応は。また、市内で点字名刺の作成等を行う事業所に手紙の作成を依頼し、働く機会を確立する考えは。

市長 現在、一部の通知等で点字付き封筒を使用しているが、音声コードや視覚障がい者用読書器等の活用も含め、情報提供の方法を検討していく。また、市内事業所の受注機会の確保にも留意していく。



働き方改革進展の中での子どもたちの学力維持向上の取り組みについて

こしがや無所属の会 大野 恭子 議員

問 「学校における働き方改革」が本市でも一定の成果を上げる中、子どもの学力維持向上の取り組みは。また、一部の中学校でデジタル採点の導入、定期テスト作成の外部委託が進んでいるが、留意点は。

教育長 教員の負担軽減と指導力向上を両立する学校が見られる。学力は国調査で平均との差が伸びている。県調査はC B T化の影響であまり伸びなかった。システム導入は、利点と課題を勘案する必要がある。



「こども未来戦略」の影響や課題、さらなる子育て支援の充実について

日本共産党越谷市議団 工藤 秀次 議員

問 「こども未来戦略」の影響や課題、子育て支援を充実する考えは。

市長 各事業の実施にあたっては、必要となる財源の確保や事業効果など、現時点において一部不透明な部分もあると認識している。引き続き、さまざまな機会を捉えて、国庫補助金の適用範囲の拡大など国にしっかりと要望を行うとともに、関係機関と密に連携を取りながら、子ども施策に全力で取り組んでいく。



交通安全意識のさらなる向上について

立憲民主党越谷市議団 小口 高寛 議員

問 職員の交通安全意識のさらなる向上に向けての考えや今後の取り組み等は。

市長 交通安全に関する研修や、「交通安全講習会」の実施等に取り組んでいる。今後もこうした取り組みを継続するとともに、法改正に関する周知徹底や、事故原因・傾向の分析を踏まえた庁内通知や職員研修のさらなる充実にも鋭意取り組み、交通安全意識について市民の模範となる行動がとれるよう、職員の育成に努めていく。



越谷市交通安全対策協議会パンフレット



不登校児童生徒の健康診断について

公明党越谷市議団 久保田 茂 議員

問 本市の不登校児童生徒は令和5年12月末で617人いる。不登校児童生徒など定期健康診断を受診できなかった場合、大阪府吹田市のように不登校の児童生徒も分け隔てなく健康診断を受診できる環境を整備することが大切であるが現状と考えは。

教育長 他市町の取り組みも参考にしながら、実態に応じすべての児童生徒が安心して受診できる環境を整えていく。健康診断未受診者は10月1日現在599人いる。



レイクタウン地内におけるアリーナ整備の妥当性(不当性)について

自由民主党越谷市議団 立澤 貴明 議員

問 観光の拠点としてアリーナを整備するということであれば、観光まちづくり推進計画の改定も必要になり、市民主体の丁寧な積み上げ型の議論を行った上で決定していく必要があるが、市長の考えは。

市長 アリーナ整備に関しては本計画には盛り込まれていない。今後、アリーナ整備に関する方向性については、本計画に盛り込んでいく必要がある。関係者の皆様に丁寧に説明し、理解をいただくことになる。



屋敷林、竹林の保護と支援について

日本共産党越谷市議団 大和田 哲 議員

問 竹林所有者から、高齢で今後の竹林維持管理に不安を抱えており、市の景観保護の観点から支援が必要と考えるが。

市長 屋敷林や竹林のほとんどが民有地であることから、せんていなど所有者の維持管理上の負担や新たな跡地利用などにより、今後も屋敷林等が減少することが懸念される。引き続き他自治体の取り組み状況を参考にしながら、支援策を含めた屋敷林等の保全について調査、検討していく。



外国人の定住について

こしがや無所属の会 斎藤 豪人 議員

問 文化や宗教の相違がある外国人市民との交流や接点を持つ取り組み、日本のルールやマナーを習得してもらう取り組みは。

市長 相互理解に向けた取り組みとしては、令和7年4月より市民活動支援センター内で日本語ボランティア育成事業などを実施する。また、市民活動支援センターを通じて幅広い交流の機会を促しお互いの文化や習慣を学び、理解し合うことのできる多文化共生の推進に努める。



市内の多文化共生を目的に活動している団体(写真提供:一般社団法人多文化共生コスモ越谷)



高齢者の健康づくりに関する取り組みについて

自由民主党越谷市議団 小林 豊代子 議員

問 介護予防活動を行う「通いの場」の効果を埼玉県立大学の研究により可視化されたが、この成果をどう捉えているか。

市長 埼玉県立大学と越谷市リハビリテーション連絡協議会と連携し「通いの場」のさらなる効果検証を進め、介護予防事業に活用していきたい。

問 健康づくりにeスポーツの活用は。
市長 ひのき荘にて「みんなDEゲーム」と題し、eスポーツ事業を開始した。

こしがや市議会からの

お知らせ

1月臨時会について

令和7年1月臨時会を1月24日（金）に開催し、1件の市長提出議案を原案のとおり可決しました。

<可決した議案>

・令和6年度越谷市一般会計補正予算（第8号）について

歳出の主な内容は、財政調整基金への積立金や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した事業費等の追加です。

質疑においては、防犯カメラ設置補助金に関する質疑などがありました。

3月定例会の開催予定

令和7年3月定例会は、2月25日（火）から3月18日（火）までの22日間にわたって開催する予定です。

詳しくは、市議会ホームページまたは議会事務局までお問い合わせください。（☎963-9261）

傍聴して一言

本定例会では、76人の傍聴者がありました。いただいた感想から一部要約して紹介します。

■一市民として市政に関心を持たなければと思い、傍聴やインターネット中継を視聴している。市の一つ一つの細かな施策が市民を守ってくれていることをありがたく思っている。市長の答弁にも好感を持てた。

■女性議員の数が少ない。女性視点の問題提起がされると良いと思う。

■傍聴席のモニターにもグラフや絵などが映し出されていて分かりやすかった。いろいろな見方や考え方を聴けて面白かった。

働きやすい服装による勤務を通年実施しています

越谷市議会では、以下の点に留意しながら、ノーネクタイ、ノージャケット等の働きやすい服装での勤務を通年で実施しています。

- 市民に不快感を与えない節度ある服装で執務すること。
- 議場等における服装は本人の良識に一任することとし、必ずしもネクタイ・ジャケットの着用を要するものではないこと。
- 式典への出席等、社会通念上必要と判断される場においては、ネクタイ・ジャケット等を着用すること。
- ネクタイ・ジャケットの着用を一律に禁止するものではないこと。



市議会 豆知識

市議会の用語や仕組みを解説します。

●定例会と臨時会

定例会は、定期的に開かれる議会のことで、案件の有無にかかわらず、必ず開くべきものとされています。本市議会では、3月、6月、9月、12月に定例会を開くことになっています。

臨時会は、必要があるときに臨時的に開かれる議会のことです。

市議会の情報は市議会ホームページからご覧になれます



上部に表示した5つのメニューから情報を探せます。

旬の情報、定例会の情報をページ上部に掲載しています。

AIチャットボットを導入しています。ガーヤちゃんへ質問を入力すると、質問に関連するページへの案内等を行います。



令和6年8月開催分から、議会運営委員会の書記録を公開しています。

本会議、常任委員会のライブ中継および録画中継をご覧になれます。また、会議録検索システムでは、過去20年の会議録を閲覧できます。

議会だよりはページごとに文章や写真が掲載されています。PDFのダウンロードもできます。

令和7年5月1日号表紙写真を募集します



令和7年5月1日号のこしがや市議会だよりの表紙写真を募集します。

募集内容

越谷市に関連する行事、風景、人物、その他季節に合うもの

応募規定

1人1回につき2枚まで。おおむね3年以内に撮影したもの。（ただし、景観に変化がなければ制限はありません）

応募資格

越谷市在住、在勤または在学の方

応募期間

令和7年（2025年）4月11日（金）まで

応募方法・応募先

応募票に写真を添えて議会事務局（本庁舎7階）まで提出してください。

また、写真をメールで提出していただくこともできます。採用された写真には、応募者（撮影者）の氏名、写真のタイトル、撮影場所を掲載します。なお、応募写真は表紙に合わせて、適宜トリミングや文字の



追加等の画像編集を行いますのでご了承ください。

※応募規定など詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

特集

第7回
越谷市学生議会を開催

— 14人の学生議員が議案審議や市政に対する一般質問を行いました —

令和6年11月9日、越谷市議会本会議場で第7回越谷市学生議会を開催しました。

越谷市議会では、市民に開かれた議会を目指すとともに、議会活動を広く理解していただくよう、議会の活性化に取り組んでいます。

学生議会はその取り組みの一環として、次代を担う若者が模擬議会を体験することによって、市政や議会への関心を深めていただくことを目的に、平成22年から隔年で模擬議会を開催しています。（令和元年度から令和3年度はコロナ禍のため未開催）

第7回となる今回は、学校選出や一般公募で集まった14人の学生議員（大学生・短期大学生）が、議案審議や市政に対する一般質問を行いました。

議案審議においては、模擬議案として、第1号議案「越谷市ストリートバスケット・スケートボード施設設置及び管理条例制定について」、第2号議案「令和6年度越谷市一般会計補正予算（第1号）について」が上程され、2人の学生議員の質疑に対し、市議会議長および副議長が答弁しました。

一般質問においては、市議会議員が、質問のサポートを行うサポート議員、質問に対して答弁を行う答弁議員として、それぞれ対応しました。



学生議長を務めた松村有美香さん



学生副議長を務めた土屋海智さん

第7回越谷市学生議会 一般質問項目一覧



学生議会の様子



議案質疑を行う学生議員



議案質疑を行う学生議員

議席番号	学生議員名	学校名	答弁議員	サポート議員	質問項目
1	つちや かいち 土屋 海智	文教大学	斎藤 豪人	野口 高明	越谷サンシティの再整備について
2	たけい りくま 武井 陸真	文教大学	小口 高寛	山田 大助	障がい児の教育支援について
3	たかむら りゅういちろう 高村 隆一郎	文教大学	工藤 秀次	竹内 栄治	学生機能団別消防団の活用について
4	すが まおり 須賀 真祈	埼玉東萌短期大学	横井 聖美	伊藤 治	乳幼児への健診について
5	はやし みなき 林 実生	文教大学	土屋 来夢	久保田 茂	越谷市の水害対策について
6	たかはし ゆうま 高橋 悠真	駒澤大学	清田 巳喜男	野口 佳司	少子高齢化社会におけるシティプロモーションの在り方について
7	たかおか もも 高岡 もも	埼玉県立大学	大田 ちひろ	小林 豊代子	小中学校における生理用品の設置について
8	かちかわ ひなこ 勝川 日菜子	埼玉県立大学	白川 秀嗣	松島 孝夫	越谷市における高齢者支援について
9	なかやま みなつ 中山 未夏	中央大学	藤部 徳治	畑谷 茂	地域福祉について
10	おまた ふうか 小俣 風花	埼玉県立大学	後藤 孝江	清水 泉	1 高齢者への情報提供格差について 2 ボランティア活動支援について
11	やまもと たいき 山本 大輝	埼玉県立大学	山田 裕子	立澤 貴明 金井 直樹	越谷市における熱中症対策について
12	やすえ ほんみ 安江 帆純	文教大学	和泉田 宏幸	大和田 哲	教員の労働環境について
13	よしだ ななみ 吉田 夏波	文教大学	菊地 貴光	小林 成好 武藤 智	越谷市の催し物とまちづくりについて
14	まつむら ゆみか 松村 有美香	獨協大学	大野 恭子	浅古 高志	越谷市の小・中学校における英語教育について

学生議会における 市政に対する一般質問

14人の学生議員が市政全般について質問を行いました。
学生議員が質問を考えるにあたり、事前にサポート議員が
アドバイスをを行い、当日の回答にあたっては答弁議員が対応
しました。

Q 越谷サンシティの再整備について

土屋 海智

学生議員

答弁議員

齋藤 豪人 議員

サポート議員

野口 高明 議員



問 学校や家庭以外における子どもの居場所が重要視される中、越谷サンシティについて、図書館・公民館等を一体化した生涯教育複合型施設として再整備することで、市民の安心・安全な居場所を創出し、市の活性化につなげる考えは。

答 越谷サンシティについては、学識経験者や関係機関、市民等からなる審議会において今後の方針に関する審議が行われることとなっており、市としてはその答申を真摯に受け止め、方針を決定したいと考えている。また、子どもの居場所や図書館等の機能については、各地区での取り組みも必要であることから、関係各所と連携を図り調査研究していきたい。

Q 障がい児の教育支援について

武井 陸真

学生議員

答弁議員

小口 高寛 議員

サポート議員

山田 大助 議員



問 肢体不自由学級や通級指導教室を設置していない学校が多く、特別支援教育支援員も平成30年の配置希望40校に対して34校の配置にとどまっている。特別支援教育の充実に向けた今後の取り組みは。

答 肢体不自由学級については、児童生徒や保護者のニーズに応じて新設・増設していく。また、通級指導教室については、教員の配置等を決定する埼玉県教育委員会に対し要望を行っている。さらに、特別支援教育支援員についても毎年増員を図っている。今後も各学校において保護者と共通理解を図りながら、個別の教育支援計画および指導計画の作成・活用を行うなど、特別支援教育の充実に向けて取り組んでいく。

Q 学生機能団別消防団の活用について

高村 隆一郎

学生議員

答弁議員

工藤 秀次 議員

サポート議員

竹内 栄治 議員



問 学生機能団別消防団について、実戦経験や訓練日数が不足しており、災害時に即戦力として活躍できるのか懸念がある。応急手当や避難所運営力の強化、消防団等との連携、災害地への派遣を行う考えは。

答 大規模災害発生時に学生機能別団員が適切に任務を行うことができるよう、年間計画を定めて訓練を実施しているほか、消防団活動の基本となる規律訓練を基本団員と合同で毎年実施している。また、災害地への派遣については、災害の規模等を把握したうえで慎重に判断する必要がある。今後も継続して訓練や研修を実施していくとともに、その任務についても、活動運営会議等を通じて周知していきたい。

Q 乳幼児への健診について

須賀 真祈

学生議員

答弁議員

横井 聖美 議員

サポート議員

伊藤 治 議員



問 乳幼児の発達課題の早期発見や子どもの健やかな成長のため、乳幼児健診を受診することが重要であると考えるが、市における現在の受診率と受診していない家庭への対応策は。

答 令和5年度における乳幼児健診の受診率は4か月児健診、10か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診のいずれにおいても90%以上であったが、かかりつけ医での受診や体調不良、市外転出、受診忘れなどの理由で100名から200名の乳幼児が受診できていなかった。未受診の乳幼児に対しては、保健師が個別に電話連絡や家庭訪問を実施し、健康状態・発達状態の把握に努めている。

Q 越谷市の水害対策について

林 実生

学生議員

答弁議員

土屋 来夢 議員

サポート議員

久保田 茂 議員



問 市内には5本の1級河川が流れ、川沿いに住居や保育所が多く存在している。避難所の多くも川の近くに設定されているが、氾濫時にも安全なのか。

答 災害時には周囲の状況を確認しながら最寄りの避難場所に向かうことが重要であり、川付近の避難場所では敷地が浸水することもあるため、その場合には垂直避難が有効となる。市としても浸水被害に対応するため、調整池の増強工事やポンプ場の増設、中川・綾瀬川流域治水協議会での広域的な流域治水対策を進めているほか、「まるごとまちごとハザードマップ」の設置や防災ラジオの有償配布、道路縁石への浸水センサーの設置等にも取り組んでいる。

Q 少子高齢化社会におけるシティプロモーションの在り方について

高橋 悠真

学生議員

答弁議員

清田 巳喜男 議員

サポート議員

野口 佳司 議員



問 人口減少社会においてシティプロモーションは重要であり、今後、市民の郷土愛の醸成をどう図っていくのか。また、SNS等による情報発信の方法についての考えは。

答 「越谷市シティプロモーションアクションプラン」に基づき、今年度は「水郷こしがや」として発展した歴史・文化等をテーマにした動画や冊子等の制作に取り組んでいる。さらに、情報発信の方法について、今年度は、若い世代をターゲットとして、Instagramを活用した「越谷市役所プロモーションZ係」事業を立ち上げたところであり、積極的な情報発信に努めていく。



右のQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、学生議会の録画映像をご覧ください。



小中学校における生理用品の設置について

高岡 もも

学生議員

答弁議員

大田 ちひろ 議員

サポート議員

小林 豊代子 議員



問 児童生徒が安心してより良い学生生活を過ごせるように、生理用品が当たり前にある環境が必要と考えている。市内小中学校における生理用品の配布状況や設置状況、また今後の方針は。

答 教育委員会では、生理用品を令和5年3月に3万4000枚、令和6年2月に8000枚を各学校の必要に応じて配布している。設置状況については、令和5年度では、小学校29校中16校、中学校15校中11校、計44校中27校がトイレへ設置している。児童生徒が気兼ねなく生理用品を手にする環境を整備するよう校長会を通じ各学校に伝えており、今後も継続して指導していく。



越谷市における高齢者支援について

勝川 日菜子

学生議員

答弁議員

白川 秀嗣 議員

サポート議員

松島 孝夫 議員



問 介護予防の取り組みには、高齢者本人が持つ、介護予防への主体的かつ前向きな姿勢が必要不可欠と考える。越谷市における楽しみながら介護予防ができる取り組みや介護予防の在り方への考えは。

答 介護予防の取り組みについて、新たにeスポーツを活用し、全身運動により介護予防の促進を図っていく。また、地域で介護予防に関する知識や体操の方法を広めていく「介護予防リーダー」を養成し、地域の自治会館等で、高齢者が集い、介護予防活動を行う「通いの場」を増やしていくこと等を今後も粘り強く継続し、市民への浸透を図っていききたい。



地域福祉について

中山 未夏

学生議員

答弁議員

藤部 徳治 議員

サポート議員

畑谷 茂 議員



問 地域福祉への主体的な参加は重要で、今後の市のまちづくりに必要不可欠と考えるが、コミュニティ形成を促す地区版福祉SOSゲームの研修会の効果は。また住民の支え合い・助け合い促進の取り組みは。

答 研修会は、地域住民の意識啓発を図るものであるため定量的な効果を示せないが、実施件数を増やすことで、地域福祉の理念の浸透に寄与していくものと考えている。また、公共施設等を活用した高齢者や障がい者、子育て世代等の多様な世代が交流できる場の推進や地域活動団体への活動促進を奨励する等、さまざまな視点から、住民相互の支えあい・助け合いの促進を図っていく。



高齢者への情報提供格差について

小俣 風花

学生議員

答弁議員

後藤 孝江 議員

サポート議員

清水 泉 議員



問 デジタル機器の普及が進む中、高齢者が簡単に活用できる環境の整備が求められる。市が高齢者に対して情報伝達を行う際の工夫は。また高齢者がデジタル技術にアクセスしやすい環境づくりの取り組みは。

答 高齢者への情報伝達の工夫として本市地域共生推進課所管の老人福祉センターなどにおいて、スマホセミナー・相談会を実施している。令和5年度は、セミナーを計14回開催し、延べ121人が参加、相談会は10回開催し、延べ91人の参加があった。今後は、現在実施している事業等を充実し、高齢者の情報アクセス環境づくりに取り組んでいく。



越谷市における熱中症対策について

山本 大輝

学生議員

答弁議員

山田 裕子 議員

サポート議員

立澤 貴明 議員 金井 直樹 議員



問 熱中症は近年、特に夏季において多くの市民に影響を及ぼしている重要な健康問題であり、早急に有効な対策を講じる必要があると考える。熱中症対策としてクーリングシェルターを導入しているが、実施条件が厳しいため、稼働していないことに問題があると考えますが、市の考えは。

答 埼玉県ではクーリングシェルター創設以前より「まちのクールオアシス」を実施しており、各施設の開放時間内で冷房の入る施設を休憩場所として開放している。今後のさらなる対策については、「まちのクールオアシス」や「クーリングシェルター」の各施設についてさらなる周知を図り、利用を促していきたい。



教員の労働環境について

安江 帆純

学生議員

答弁議員

和泉田 宏幸 議員

サポート議員

大和田 哲 議員



問 将来、教員になりたいと考えているが、長時間労働や教員不足といった問題に不安を感じている。越谷市では現在、働き方改革の一環でふれあいデーの導入やカウンセラーによるメンタルヘルス支援が行われている。そうした取り組みによる成果と今後の改善策は。

答 本市では、令和4年に働き方改革基本方針を策定し、全教職員に周知し、多忙化解消・負担軽減を進め、学校教育の質の維持向上を図っている。時間外在校等時間が減少していることから、基本方針によって一定の成果が上がっていると考えている。今後は方針の更新を図り、多忙な学校業務の解消に向けた取り組みを推進していく。



学生議会における市政に対する一般質問

Q 越谷市の催し物とまちづくりについて

吉田 夏波

学生議員

答弁議員

菊地 貴光 議員

サポート議員

小林 成好 議員 武藤 智 議員



問 市には、その魅力を伝えるために催されている伝統的なイベントや祭りなどがある。これらは、市が直接関わっていることもあれば、行事を主催する団体を支援することもあると伺った。催し物が市のまちづくりの目標にどの程度、またどういった点で寄与すると考えているのか。

答 文化、芸術、歴史、スポーツ等の催し物は、市民の心の豊かさ、郷土愛の醸成に寄与しており、市外の方に対する本市の魅力発信という観点からも貴重な地域資源であるという認識を持っている。現在、市では観光まちづくり推進計画を策定し、魅力創造、ブランド戦略として、歴史・文化・スポーツ等の活用に取り組んでいる。

Q 越谷市の小・中学校における英語教育について

松村 有美香

学生議員

答弁議員

大野 恭子 議員

サポート議員

浅古 高志 議員



問 新学習指導要領が実施され、これまで以上に英語教育の重要性が高まっている。小・中学校における英語教育の現場における成果や課題は。また、今後の英語教育のさらなる充実について市の考え方は。

答 国、県が行う学力・学習状況調査では一定の成果が得られていると受け止めている。課題については、英語教育の前倒しと高度化により、英語への興味関心が二極化する傾向がある。本市では現在、英語教育の充実に向けて、教員の指導力向上に取り組んでいる。さらに、主に中学生に対し実用英語検定の受検を推進し、英語検定の取得率向上を図っていきたいと考えている。



意見交換会

を行いました

学生議会閉会后、学生議会の感想や今後のまちづくり等について、学生議員と議員の意見交換会を行いました。

学生議員が市政や議会への理解を深めるきっかけになるとともに、議員にとっても次代を担う若い世代の意見を聞く貴重な機会となりました。



学生議会を終えて

学生議員の感想文を一部要約してご紹介します。

学生議会を経て、市議会は私たちの生活に深く関わっており、より良い暮らしやあるべき社会に少しでも近づけられるような話し合いが行われているのだと分かりました。

人前で話すことが苦手でしたが、サポート議員をはじめ、たくさんの方のおかげで無事に終えられたことを嬉しく思っています。学生議会以外にも、このような交流を図れる場があると良いと思いました。

一般質問の内容を考えたり、議員の答弁を聞いたことで、市政に対する理解を深めることができたとともに、市民参加の重要性を再認識しました。今後は市の取り組みなどに関する知識を広げ、それらを家族や友人にも伝えていきたいです。

他の学生議員の質問では、それぞれが日々の学びや活動を通じて感じた社会問題が反映されており、大変刺激を受けました。普段接することの少ない分野や社会問題を知ること、自分の視野を広げる機会にもなりました。

編集後記

厳しい寒さが続き、冬の澄んだ空気が感じられる季節となりました。

昨年11月には越谷市学生議会が開催され、市政への新たな提案が示されました。令和6年12月定例会では20名の議員が一般質問を行い、市政課題について議論が交わされました。令和7年3月定例会では新年度予算を審議する予定です。ぜひ議会に足を運んでみてください。

広報・図書室協議会委員
土屋 来夢